

第14回若年者ものづくり競技大会「電気工事」職種 Q&A

Q 1. 大会で使用する作業台ですが、市販の台を加工（フックを取り付ける等）して使用できますか。また、自作のもの（木材などを組み合わせてつくる）を使用できますか。

A 1. 作業台（加工台）に関しては市販の台の加工や自作の使用は問題ありませんが、危険性の無いようにお願いします。また、作業用足場（踏み台）に関しては公表される『「電気工事」職種 概要』に従って下さい。

Q 2. 作業手順について、作業開始後すぐに金属管の切断に入ることは問題ないですか。また、その他作業の手順について決まりはありますか。

A 2. 作業の手順は各自自由で問題ありません。ただし、競技会場の配置が作業台の表裏で別の選手が競技課題を製作している状況のため、例えば、墨出し等を後に回した場合、自分が墨出し作業をする際に、作業台の裏側の選手が別の作業を行っている可能性があります。

Q 3. 競技課題の支給材料表No. 22 品名「丸型引掛シーリング」の備考欄に「パナソニックWG4000W」と記載されておりますが、これは、ねじ止め式の引掛シーリングということでしょうか。

A 3. 今回大会の支給材料表No. 22 品名「丸型引掛シーリング」は、ねじ止め式の「パナソニックWG4000W」です。

Q 4. 競技大会の概要に「作業用足場台、踏台については、安全性を考慮して規格認定品を用いること。規格認定品以外、脚立、手作り品および代用品については使用禁止とする。」とありますが、脚立の定義（高さ、形状）について、具体例を示してほしい。特に背の大きい脚立と小さい脚立の違い等、作業台、踏台、脚立の違いを知りたい。

A 4. 作業用足場台、踏台の大きさについては作業エリアに制限があるので適切な大きさを選んで下さい。また選手の身長にも関係するので、特に高さの指定は致しません。但し安全性を考慮して今大会から規格認証品のみ使用可能です。一例としてはアルミ足場台 DWD-K405B、や 踏台 天板幅広タイプ CWX-60AS 等です。

Q 5. パイプバイス（三脚の上にあるもの）の上のねじをとり、三脚を取り外し、上部のバイスの部分を別の板などに取り付けたものを使用してよろしいでしょうか。

A 5. 三脚から取り外し別の板等に取り付けても構いませんが、堅固に固定して安全上問題の無いようにお願いします。もし競技委員側から安全上問題ありと判断された場合は、使用できませんのでご注意ください。

Q 6. ベンダの柄の長さを選手の身長に合わせて、カットしたものを使用してよろしいでしょうか。

A 6. ベンダの柄の長さを選手の身長に合わせて、カットして調整しても構いません。

Q 7. 概要の別紙 2 の競技用パネル仕様の図において、横の長さが1,720mmとあるが、幅910mmの板が2枚なので、1,820mmではないでしょうか。

A 7. 概要の別紙 2 の競技用パネル仕様の図のように、板が左右の固定枠に挟み込まれるため、横の長さは1820mmでなく約1,720mmになっております。

Q 8. 課題施工図において、アウトレットボックスC内のI V線（2.0mmの赤）とI V線（1.6mmの緑）の配線をスルー配線にしてもよろしいでしょうか。

A 8. アウトレットボックスC内のI V線をスルー配線しても構いません。但し、その場合は公表競技課題の説明 5. の3路スイッチ相互間のスルー配線（通し配線）方法に従って施工して下さい。

Q 9. 各種認定マーク作業用足場台・踏台についてですが、一段のアルミ製踏台であり天板270×174(mm)高さ0.28(m)の折りたたみ式でAマーク、SGマークのシールがあるものは使用できるでしょうか。第12回大会では天板上での作業で使用できないと注意を受けております。

A 9. 公開の概要のとおりアルミ製踏台については、各種認定マークがあれば使用できます。天板上への乗り方については、そのメーカーの説明書通りの使い方をお願いします。

Q10. 概要の「6. 審査について」の項目「(2) 基本事項 ③寸法」に「指定寸法墨入れ線が枠の端まで届いていないもの」とありますが、枠から墨出しを行うと引き始めの10mmほど墨がつかい無い部分が出る場合もありますが、その部分も枠(1,600mm×1,600mmの枠)の端から端まで届いていないと見なされ減点対象となりますでしょうか



A10. 公開の概要のとおり、指定寸法墨入れ線が枠の端まで届いていない場合は、減点対象となります。